# 3. 農薬 (1) 農薬の生産及び出荷等について

ア、生産・出荷状況

		年	度	平成2	8年度	平成 2	9年度	平成3	0年度	令和力	元年度
				実 数	対 前 年 比	  実 数	対前年比	実 数	対 前 年 比	  実 数	対前年比
	用途	<u> </u>	/	111 015	25.0	444.047	100.5	117.070	101.0	447.005	100.0
	殺虫剤	生	産	111, 015							
		出	荷	112, 342							
	殺菌剤	生	産	79, 615	99. 8			· ·		· ·	
		出	荷	79, 614	106. 5			73, 485			
金	殺虫殺菌剤	生	産	36, 566							
		出	荷	35, 078		35, 280					98. 2
額	除草剤	生	産	139, 719	119.3			147, 148			
		出	荷	136, 445			101.5				
	殺そ剤	生	産	308	80. 8		104. 5	296	91. 9		106. 9
百		出	荷	328	92. 9			313			
万	植調剤	生	産	6, 531	108. 2	7, 356	112. 6	7, 086	96. 3	5, 898	83. 2
		出	荷	6, 013	102. 6	6, 474	107. 7	6, 078	93. 9	6, 119	100. 7
円	補助剤	生	産	3, 593	112. 6	3, 701	103. 0	3, 698	99. 9	3, 837	103. 8
		出	荷	3, 463	111. 5	3, 498	101.0	3, 657	104. 6	3, 519	96. 2
	その他	生	産	3, 215	133. 6	3, 007	93. 6	3, 240	107. 7	3, 311	102. 2
		出	荷	3, 149	108. 6	2, 879	91.4	3, 150	109. 4	3, 132	99. 4
	合計	生	産	380, 561	104. 8	389, 049	102. 2	392, 850	101. 0	387, 733	98. 7
		出	荷	376, 430	106. 3	375, 613	99. 8	370, 323	98. 6	374, 233	101. 1
	殺虫剤	生	産	71, 235	83. 7	72, 503	101.8	76, 132	105. 0	73, 393	96. 4
		出	荷	73, 381	84. 7	73, 340	99. 9	73, 174	99. 8	71, 727	98. 0
	殺菌剤	生	産	42, 335	90. 0	40, 760	96. 3	41, 872	102. 7	41, 032	98. 0
		出	荷	41, 753	91. 9	41, 852	100. 2	39, 287	93. 9	39, 741	101. 2
	殺虫殺菌剤	生	産	20, 146	92. 6	17, 003	84. 4	17, 367	102. 1	16, 927	97. 5
*-		出	荷	18, 001	87. 2	17, 543	97. 5	16, 648	94. 9	16, 130	96. 9
数	除草剤	生	産	83, 401	122. 7	84, 909	101.8	87, 625	103. 2	82, 489	94. 1
		出	荷	83, 001	121. 5	82, 955	99. 9	81, 691	98. 5	81, 570	99. 9
量	殺そ剤	生	産	315	76. 7	335	106. 4	290	86. 6	306	105. 2
		出	荷	336	85. 6	324	96. 5	309	95. 5	291	94. 0
	植調剤	生	産	1, 423	79. 9	1, 654	116. 2	1, 479	89. 5	1, 523	103. 0
t		出	荷	1, 477	75. 7	1, 532	103. 7	1, 496	97. 6	1, 562	104. 4
	補助剤	生	産	2, 883	102. 3	2, 962	102. 7	2, 807	94. 8	3, 008	107. 2
		出	荷	2, 862	102. 6			2, 798	97. 9	2, 796	99. 9
	その他	生	産	7, 246							
		出	荷								
	合計	生	産	228, 984				235, 575			
		出	荷								

(注) 平成28~令和元年度の生産・出荷金額及び数量については、「農薬要覧」(日本植物防疫協会)より引用。

## (1) 農薬の生産及び出荷等について

### イ. 主要農業生産資材の農家購入価格の推移

年 度	H27年度 (H27.4 ~ H28.3)	H28年度 (H28.4 ~ H29.3)	H29年度 (H29.4 ~ H30.3)	H30年度 (H30.4 ~ H31.3)	R元年度 (H31.4 ~ R2.3)
農業生産資材総合	100.0	98.5	98.8	100.7	101.9
対基準年騰落率(%)	_	(△1.5)	(△1.2)	(0.7)	(1.9)
農薬	100.0	100.0	99.4	99.4	100.5
対基準年騰落率(%)	_	_	(△0.6)	(△0.6)	(0.5)
肥料	100.0	98.2	92.7	94.3	98.0
対基準年騰落率(%)	_	(△1.8)	(△7.3)	(△5.7)	(△2.0)
農機具	100.0	100.2	100.2	100.3	100.8
対基準年騰落率(%)	_	(0.2)	(0.2)	(0.3)	(8.0)

資料:農林水産省「令和元年度農業物価指数」

基準年は27年度

#### (2) 農薬の登録状況

#### ア. 新規登録された農薬

種類	平成30農薬年度	令和1農薬年度
殺虫剤	33	28
殺菌剤	26	25
殺虫殺菌剤	21	8
除草剤	74	67
植物成長調整剤	2	4
その他	4	6
合計	160	138

〇平成30農薬年度

新規化合物 10種類:殺虫剤4種類、殺菌剤4種類、除草剤2種類

新混合剂 53種類: 殺虫剤4種類、殺菌剤5種類、殺虫殺菌剤15種類、除草剤29種類

新剤型 5種類:殺虫剤2種類、殺虫殺菌剤1種類、除草剤2種類

新製剤 19種類: 殺虫剤4種類、殺菌剤2種類、殺虫殺菌剤1種類、除草剤10種類、

植物成長調整剤1種類、その他1種類

新単剤 O種類

〇令和1農薬年度

新規化合物 12種類:殺虫剤6種類、殺菌剤3種類、殺虫殺菌剤1種類、除草剤2種類

新混合剤 34種類: 殺虫剤3種類、殺菌剤9種類、殺虫殺菌剤5種類、除草剤16種類、

その他1種類

新剤型 16種類: 殺虫剤2種類、殺菌剤4種類、殺虫殺菌剤1種類、除草剤6種類、植

物成長調整剤1種類、その他2種類

新製剤 4種類: 殺虫剤1種類、除草剤3種類

新単剤 O種類

(注)

新規化合物:新たに登録された新規化合物を有効成分とする農薬

新混合剤 : 既に登録を受けている農薬の有効成分を新たな組合せで、2種類以上混合した農薬

新剤型:有効成分としては既登録であるが、新たな剤型として登録された農薬

新製剤 : 既登録農薬と同一の種類名に包含されるが、有効成分の含有量が異なる農薬

新単剤 :混合剤として既登録のものであるが、新たに単剤として登録された農薬

#### (参考資料)

#### 1. 人に対する事故

(単位:件(人))

								<u> </u>	<u> </u>		
区 分	年 度	平成2	7年度	2	8	2	9	3	0	令和:	元年度
死	農薬の使用中	1	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	誤 用	6	(6)	0	(0)	1	(1)	4	(4)	0	(0)
亡	小 計	7	(7)	0	(0)	1	(1)	4	(4)	0	(0)
中	農薬の使用中	10	(33)	9	(13)	10	(22)	12	(23)	9	(21)
	誤用	12	(25)	10	(10)	10	(15)	9	(15)	2	(2)
毒	小 計	22	(58)	19	(23)	20	(37)	21	(38)	11	(23)
	計	28	(65)	19	(23)	21	(38)	25	(42)	11	(23)

- (注) ・集計した事故には、自他殺は含まない。 ・区分欄の「農薬の使用中」は下記①~⑥が該当。 ・区分欄の「誤用」は、下記⑦、⑧が該当。

  - ①マスク、メガネ、服装等の装備が不十分
  - ②強風中や風下での散布等、自らの不注意により本人が暴露 ③長時間や高温時の作業、不健康状態での散布

  - ④防除器具の故障、操作ミス、整備不良等による農薬のドリフトや流出 ⑤ドリフト防止対策の未実施等による農薬のドリフトや流出 ⑥被覆が不十分であった等、農薬使用後の作業管理の不良 ⑦保管管理のでは、また、大阪等の窓間は提

  - ⑧運搬中における容器の転落・転倒等の容器破損

#### 2. 農作物、家畜(蜜蜂を除く)及び生活環境動植物等に対する被害

(単位:件)

被害対象 年 度	平成27年度	28	29	30	令和元年度
農作物	9	4	3	7	8
家畜	0	0	0	0	0
蚕	0	0	0	0	0
魚類	3	7	13	5	7
計	12	11	16	12	15